

2024年度 首長・議員懇談会報告

みやぎ生協・コープふくしまは、宮城県、福島県の首長、宮城県議会議員、仙台市議会議員と地域のメンバー（組合員）が年に1回懇談会を開催しています。2024年度の開催状況を報告します。

懇談一覧

	開催数 (昨年)	開催地域 (開催順)	参加者数(人)	
			生協メンバー (昨年)	首長・議員数 (昨年)
首長懇談	37(40) 宮城県 31 福島県 6	(宮城県) 栗原市、美里町、亶理町、山元町、涌谷町、七ヶ宿町、丸森町、岩沼市、加美町、角田市、白石市、大河原町、名取市、南三陸町、大和町、気仙沼市、柴田町、利府町、色麻町、東松島市、大衡村、大郷町、富谷市、女川町、仙台市、石巻市、多賀城市、七ヶ浜町、大崎市、松島町、塩釜市 (福島県) 白河市、田村市、国見町、福島市、桑折町、伊達市	宮城119 (180)	37(40)
宮城県議懇談	9(9)	加美、青葉区、宮城野区、大崎、泉区、若林区、太白区	102(128)	18(22)
仙台市議懇談	5(5)	青葉区、宮城野区、太白区、若林区、泉区	126(113)	26(26)
計	51(55)		347(421)	81(88)

【主な懇談内容】

〈仙台市長懇談会〉

宮城県仙台市 1月28日 仙台市役所 郡和子市長
みやぎ生協 冬木勝仁理事長、河野雪子副理事長、尾川輝敏専務理事、安達泉理事、石垣八重美理事、小川浩美理事、佐藤淑子理事、恵津順美理事



2025年度からの子育て地域プランに向けて、子どもの声を聴き、その声を尊重しながら進めていきたいです。「子ども会議」では、「みんなが幸せになるといいな」をテーマに決め、自発的に活動をしていました。2025年度は、また違った視点から自主的な活動を進めていきます。市の施策を決定する中で、子どもの声を聴く機会を設けていきます。小1～高校生を対象に「こども意見広場」を子ども財団と連携して進めていきます。

〈福島市長懇談会〉

福島県福島市 3月21日 福島市役所 木幡浩市長
コープふくしま 國久暁常勤理事、岡崎香織理事、菊池浩幸ふくしま県本部長、組合員1人



消費日本ー「納豆のまち福島」のブランド化でぜひ連携を進めていきたいとのことでした。親子の触れ合いが少ないことを課題にしていることから、子育て応援の取り組みも連携した取り組みにつながるよう今後話し合いを進めて具体化していくこととなりました。フードドライブだけでなく、市で実施しているコミュニティフリッジの取り組みの提案をいただきました。

〔主な懇談内容〕（開催月日順）〈首長懇談会〉宮城県、福島県の首長・宮城県議・

〈宮城県〉

栗原市 8月27日 栗原市役所 佐藤智市長
みやぎ生協 小澤義春常務理事、目黒純栄理事、メンバー5人



「子どもセンター」を設置し、妊娠、出産、子育てに不安や困難を抱える世帯の早期把握や対応等、これまで以上に相談支援を強化しています。2025年度には新たに5歳児健康診査の実施を予定しており、幼児の健康の保持増進を図るとともに子どもの特性を早期に発見し、その特性に合わせた適切な支援を行っていきます。

美里町 10月16日 美里町役場 相澤清一町長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、及川しのぶ理事、メンバー5人



小、中、高校生世代までと、0歳～高校生世代までの保護者を対象に「子どもの生活実態に関する実態調査」のwebアンケート実施中です。出生と転入時には、保育施設利用ニーズ調査を実施しています。今後、保育施設利用者に満足度調査を予定しています。

亘理町 10月18日 亘理町役場 山田周伸町長
みやぎ生協 小澤義春常務理事、白井幸子理事、メンバー7人



中・高校生を対象に「放課後の居場所」等をテーマにワークショップを開催しました。今後、課題やテーマ、対象を分けて、ワークショップやアンケート、意見募集等を実施し、各種事業の実地計画に反映していきます。

山元町 10月23日 山元町役場 橋元伸一町長
みやぎ生協 國久暁常勤理事、白井幸子理事、メンバー5人



こども家庭センターでは、専属の保育士、看護師が育児相談等を行っています。町では、15歳～39歳までの方に意見を聞きアンケート調査を行っています。調査結果は来年集計し公開します。

涌谷町 10月25日 涌谷町役場 高橋貢総務課参事兼課長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、及川しのぶ理事、メンバー3人



2025年度子ども計画を策定中です。小学生からは町内3ヶ所の児童クラブで声がけをし意見要望を聴くことにしています。中学生(若者)からは、SNSでのアンケート等を実施できないかも含め、一番有効な方法を模索中です。

七ヶ宿町 10月31日 七ヶ宿町役場 小関幸一町長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、佐藤久美子理事、職員



職員が地域に出向いて中学生と話をしています。中学校に入学してから3年かけて「こんな町にしたい」と意見が発表できる場を作っています。保護者とは、子育てをしていく上で何が必要か等を懇談し、事業の組み立てに役立てています。今後は、子どもから直接意見を聞く「子ども会議」の開催に向けて研究中です。子どもたちが町をどう見ているのか聞く場を計画します。

丸森町 11月7日 丸森町役場 保科郷雄町長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、佐藤久美子理事、メンバー3人



「第3期子ども子育て支援事業計画」を策定するため、子どもの保護者と小5・中・高校生へアンケートを実施しました。町総合計画の策定には、中学生へのアンケート調査と中学3年生対象ワークショップを実施しアイデアや意見を踏まえながら進めています。今後とも積極的に子どもの声を聴く取り組みを進めていきます。

岩沼市 11月14日 岩沼市役所 佐藤淳一市長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、白井幸子理事、メンバー5人



アンケート調査をし、子どもたちの意見を聴くこととしています。高校生～39歳までの方を対象にオンラインミーティングを計画中です。市民の税金を大切に使いながら、子育て世代を応援していきたいです。

加美町 11月14日 加美町役場 石山敬貴町長
みやぎ生協 小澤義春常務理事、及川しのぶ理事、メンバー4人



4月に「子ども家庭課」を設置し、子ども子育て会議を立ち上げ「こどもまんなか社会」に取り組んでいます。3月には「子ども子育て会議拡大版」として、町長、会議委員、企業、子育て世帯、小中高生・成人の方々と意見交換をしました。8月にはアンケート調査を通じて子ども食堂・パントリーを実施し次年度に向けて準備を進めています。

角田市 11月19日 角田市役所 黒須貫市長
みやぎ生協 國久暁常勤理事、佐藤久美子理事、メンバー3人



「こども家庭センター」を設置し切れ目のない相談支援を行います。必要に応じて関係機関とも連携し、各種サービスを利用しながら子育ての負担を軽減していきます。親子の心身の健康から日々の子育ての悩みまで幅広く対応しご家庭にあったより良い方法を一緒に考えます。

仙台市議とメンバー・組合員が懇談し、よりよい地域づくりにつなげています。

※首長名とみやぎ生協参加者名は懇談時点のものです。

白石市11月20日 白石市役所 山田裕一市長

みやぎ生協尾川輝敏専務理事、佐藤久美子理事、メンバー3人



9月に「白石市幼児教育・保育のあり方に関する基本方針」を策定し、保護者、小中高生などを対象に36回の説明会を開催しました。子ども食堂運営団体等と懇談会を開催し、子どもや子育て当事者の声を聴き「こどもの居場所づくりを推進されている」団体と協力先との橋渡しができました。

気仙沼市12月11日 気仙沼市役所、菅原茂市長

みやぎ生協小澤義春常務理事、目黒純栄理事、メンバー7人、職員2人



人口減少対策のための市民会議では、市内の中高生も参加し自分たちの町の活性化などについて話し合いを行いました。民間の団体の協力も得ながら子どもの声を聴き、その声を大切に子どもの視点に立った取り組みを進めます。

大河原町11月25日 大河原町役場 齋清志町長

みやぎ生協國久暁常勤理事、佐藤久美子理事、メンバー2人



町内の乳幼児・小学児童の保護者にアンケートを実施しました。次年度に向けて、みんなと一緒に過ごすことのできない子どもに対するの第3の居場所づくりも、他の自治体の成功例を参考にしながら検討していくことを計画しています。

柴田町12月16日 柴田町役場 滝口茂町長

みやぎ生協河野雪子副理事長、佐藤久美子理事、柴田センター長、メンバー3人



子どもや子育て世帯のニーズ把握のため小4年生～高校生年代の全員を対象に「ヤングケアラー実態調査」と未就学児世帯と小学生世帯を対象に子育てしやすい環境づくりを進めるためのアンケート調査を実施しました。「柴田町子ども子育て会議」では育児サークル、保育園、幼稚園、小学校の保護者が委員となり意見をいただいています。

名取市11月26日 名取市役所 山田司郎市長

みやぎ生協尾川輝敏専務理事、白井幸子理事、清藤朋子理事、メンバー9人



7.8月に児童センターの5・6年生と意見交換をし「安全なまちづくり」「室内で快適に過ごせる遊び場が欲しい」と意見があったので、県内産の木材を使用した遊び場を開設計画しています。

利府町11月16日 利府町役場 熊谷大町長

みやぎ生協尾川輝敏専務理事、菊地由香里理事、石垣八重美理事、メンバー3人



2025年度の「利府町子ども計画」の策定にあたり、ジュニアリーダー、ジュニアリーダーOBとの意見交換会を2回実施し寄せられた意見は会議等で広く周知しています。保護者や利府高校生との子育て座談会を開催しています。

南三陸町11月28日 南三陸町役場 三浦浩副町長

みやぎ生協菅野久美子生活文化部課長、目黒純栄理事、メンバー3人



2024年度から、放課後児童クラブで「子ども会議」を開催し、子ども同士で議題を決め、話し合いを行いました。子育てタウンミーティングを2回開催し、こども施策を実施していきます。

色麻町12月17日 色麻町役場 鶴谷康副町長

みやぎ生協小澤義春常務理事、及川しのぶ理事、メンバー3人



2017年と2019年に小中学生対象に教育委員会主催による「子ども会議」を開催していましたが、コロナ禍以降は開催していません。現在進めている3期子ども子育て支援事業計画の策定にあたっては、就学前児童と小学生の保護者に対してアンケートを実施しました。今後は、その結果をふまえ「子ども計画」に反映する予定です。

大和町12月10日 みやぎ生協大富店 浅野俊彦町長

みやぎ生協河野雪子副理事長、信山澄重理事、メンバー3人



2024年度第3期の計画を立てるにあたり、未就学児と小学生を持つ保護者対象にアンケートを実施しました。2015年度は待機児童が県内3番目に多い地域となっていました。2022年4月の段階から待機児童0となっています。年度途中に入れないのが課題です。18歳までの医療費と小中学校の給食費は無料です。

東松島市12月18日 東松島ハーモニー、渥美巖市長

みやぎ生協尾川輝敏専務理事、佐藤ひで子理事、メンバー7人



年齢や発達に応じて意見を発表する機会の確保に努めていきます。「東松島市子ども子育て会議」の委員として、保育所利用などの保護者の代表3人を委嘱しており、子育て支援施策への意見等を反映していきます。

〔主な懇談内容〕（開催月日順）〈首長懇談会〉宮城県、福島県の首長・宮城県議・

〈宮城県〉

大衡村 12月24日 大衡村役場、小川ひろみ村長
みやぎ生協 尾川輝敏専務理事、内館昭子顧問、信山澄重理事、メンバー1人



高校や大学へは村外に行くことになるので、奨学金を独自の基金の中から返済制度を立ち上げていきたいと思っています。子どもたちが生まれ育った村に安心して帰ってこられる場所にしたいと考えています。

大郷町 1月24日 大郷町役場 田中学町長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、菊地由香里理事、メンバー2人



2歳以下の子どもがいる家庭と18歳～39歳の町民を対象にアンケートを実施し、子育て世帯からの声も聞き、計画に反映していきます。2025年度は、ベビー用品のレンタル、0歳児の保育園の無償化を考えています。

富谷市 1月28日 明石台店 若生裕俊市長
みやぎ生協 尾川輝敏専務理事、信山澄重理事、メンバー13人



市内全小学校の代表者が市長に直接意見を届ける「とみやわくわく子どもミーティング」開催や、子どもに直接かわりの少ない部署においても子どもの目線や意見を事業に反映させる取り組みを推進しています。

女川町 1月27日 女川町役場 伊丹相治副町長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、佐藤ひで子理事、メンバー6人



子どもたちにアンケートをとり、要望を聞くなどして、まちづくりにいかしています。また、学習塾などの補助金を充実させ、学習支援をすることで、子育て支援や子育てしやすい地域づくりに力をいれています。

石巻市 1月30日 石巻市役所 齋藤正美市長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、佐藤ひで子理事、メンバー13人



子どもを権利の主体として認識し、各施策を実施してきました。2023年1月に「石巻市子どもまんなか宣言」を行い、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、各種ニーズのアンケート、直接意見を聴くワークショップを実施し、次期子ども計画に反映していきます。

多賀城市 1月30日 多賀城市役所 深谷晃祐市長
みやぎ生協 尾川輝敏専務理事、石垣八重美理事、菊地由香里理事、メンバー3人



若者会議を実施しています。市内中学生とリアルミーティングを実施しました。多賀城高校の生徒とも懇談をし、意見を聴きました。子どもが安心して意見を言える機会を作りたいです。ヤングケアラーの調査を実施しています。

七ヶ浜町 2月13日 七ヶ浜町役場 寺澤薫町長
みやぎ生協 小澤義春常務理事、菊地由香里理事、メンバー2人



2025年度から2026年度で計画策定業務を行います。2025年度においては、子ども、若者、子育て当事者を対象に幅広く意見の聴取を行う予定です。具体的な意見聴取の方法については、今後、関係機関と調整しながら進めていくこととしています。

大崎市 2月14日 大崎市役所 伊藤康志市長
みやぎ生協 尾川輝敏専務理事、及川しのぶ理事、メンバー6人



小学生対象「おおさき子どもサミット」中学生対象「生徒会サミット」高校生対象「高校生タウンミーティング」を開催し、市の施策や「大崎市子ども計画」に反映させるために取り組んでいます。

松島町 2月18日 松島町役場 櫻井公一町長
みやぎ生協 國久暁常勤理事、菊地由香里理事、メンバー2人



2025年度～2029年度の「松島町・子育て支援事業計画」の策定作業を進めており、子ども子育て当事者を対象にアンケート等を実施しています。今後、町と一緒に子育てや高齢者を含めた居場所づくりを計画していきたいです。

塩竈市 3月12日 塩竈市役所 佐藤光樹市長
みやぎ生協 尾川輝敏専務理事、菊地由香里理事、メンバー2人



子育て支援事業計画について、子育て中の保護者を対象にアンケートを実施し、8割の回収率がありました。共働きが増え、学童や保育園に通う子どもが増えています。行政だけでは難しいので、協力をいただきながら施策をおこなっています。

仙台市議とメンバー・組合員が懇談し、よりよい地域づくりにつなげています。

※首長名とみやぎ生協参加者名は懇談時点のものです。

〈福島県〉

白河市10月29日白河市役所井上賢二副市長

コープふくしま小澤義春常務理事、金丸まど子理事、菊池浩幸ふくしま県本部長、組合員2人



子育て支援サービスについて伺いました。1歳から3歳まで年間3万円のクーポン券が出るとのことでしたが、買い物の困難さやクーポンの使えるお店のない地域等があることから、宅配でもこのクーポン券が使えるように検討してほしいとの要望が出されました。懇談会開催前にフードドライブの贈呈式を行いました。

桑折町3月24日桑折町役場高橋宣博町長

コープふくしま河野雪子副理事長、菅野優子理事、菊池浩幸ふくしま県本部長、組合員2人



「絵本キャラバン」の取り組みや絵本を通じて過ごす親子の時間の大切さについて話し合いました。また「子どもを大切にすまちづくり」として「学校教育の推進・平和学習派遣事業」で小学生を広島平和記念式典に派遣し、実際に見聞することの大切さについて詳しく伺いました。今後、平和をテーマに、報告会や絵本キャラバンなど連携を進めていきます。

田村市12月20日田村市役所白石高司市長

コープふくしま河野雪子副理事長、野崎玲子理事、菊池浩幸ふくしま県本部長、組合員3人



懇談会を機に「災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定」を締結しました。「すくすくばこ」と宅配事業に対しおほめの言葉をいただきました。絵本キャラバンの開催に向けて、こども未来課との連携を確認しました。

伊達市4月18日伊達市役所須田博行市長

コープふくしま河野雪子副理事長、菅野優子理事、菊池浩幸ふくしま県本部長、組合員4人



子どもの活字離れや読書離れへの対策として、絵本キャラバンへの期待が寄せられました。また「非核平和都市宣言」の取り組みの一環として、中学生の広島派遣や平和の尊さを伝える展示や講演会の開催をしています。平和の取り組みも一緒にとお話をしたところ、今後も様々な連携を進めていきたいと思います。

国見町2月21日国見町役場村上利通町長

コープふくしま小澤義春常務理事、菅野優子理事、菊池浩幸ふくしま県本部長、組合員2人



懇談会を機に5月に「災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定」を締結することになりました。包括協定についても話し合いを進めていきたいとお話をいただきました。障がい者の居場所づくり事業を引き続き国見店で行うこと、図書館の記念イベントでの「絵本キャラバン」の開催など様々な連携を進めていくことを確認しました。



〈宮城県議会議員懇談会〉

加 美

10月23日 加美やくらい文化センター

高橋啓議員

みやぎ生協

小澤義春常務理事、及川しのぶ理事、メンバー7人



学校行事に参加し関係者や父兄と意見交換をしました。年一度、学生と議員と議会の役割や投票率向上などの意見交換会をしています。少子化を受け、次期県立高校将来構想に基づき地域2つの高校存続のため取り組みます。厳しさを増している農業振興のため、あらゆる面で対策を支援します。

泉 区

1月28日 みやぎ生協黒松店

伊藤和博議員、小畑仁子議員

みやぎ生協

國久暁常勤理事、信山澄重理事、齋藤裕美理事、辻村優子理事、メンバー17人



不登校の問題として、学校を卒業後も支援の継続ができるよう取り組んでいきます。心臓を守る会のお母さんが子どもが主体となるような「病院ノート」の作成にみやぎ生協の助成を受けました。支援学級の子どもの放課後ディサービスに通わせたいが、費用や高校進学のための現状についての話がでました。

青葉区

1月8日 みやぎ生協柏木店

金田もとる議員、ゆさみゆき議員

みやぎ生協

小澤義春常務理事、佐藤淑子理事、辻村優子理事、齋藤裕美理事、メンバー24人



仙台市、県、教育長と1人1人の子どもの学習プログラムについて話し合いを進めています。給食の無償化、医療費の窓口負担免除に取り組んできました。再生可能エネルギーは、自然との調和のとれた開発にしていかなければ地域の理解は得られないので、1つ1つ検証していきます。

若林区

1月27日 みやぎ生協南小泉店

高橋克也議員、三浦ななみ議員、渡辺勝幸議員

みやぎ生協

佐久間浩之生活文化部課長、安達泉理事、メンバー18人



宮城県の不登校の児童や生徒は深刻です。県では、4月から子育て当事者や子どもたちが相談しやすいようにLINEを活用した24時間対応の相談窓口を開設します。中学校の部活のあり方や医療費についても懇談しました。

宮城野区

1月9日 みやぎ生協榴岡店

佐々木なつえ議員

みやぎ生協

河野雪子副理事長、安達泉理事、石垣八重美理事、齋藤裕美理事、佐藤淑子理事、メンバー19人



「みやぎ子ども幸福計画」の見直しのため1月14日までパブリックコメントを受付けており、子どもの声をしっかり聴く団体からも意見を聞き参考にします。ヤングケアラーの問題については、スクールソーシャルワーカーに相談してほしいです。

太白区

1月29日 カメイアリーナ仙台

かつち恵議員、佐々木幸士議員、ふなやま由美議員、横山のぼる議員、わたなべ拓議員

みやぎ生協

國久暁常勤理事、恵津順美理事、清藤朋子理事、メンバー41人



直接子どもの声を聞くことが少ない状況で、SNS、インスタグラムなど模索しながら進めています。また地域と連携して情報を集める様にしています。子ども基本法から計画の作成、アンケートを利用しての5ヶ年計画そして安心して出来る居場所の変化など考慮すべき点を考えながら進めていきます。

大 崎

1月16日 みやぎ生協古川南店

佐々木賢司議員、佐藤仁一議員、中島源陽議員

みやぎ生協

佐久間浩之生活文化部課長、及川しのぶ理事、メンバー12人



学校に通えない児童生徒や障がい児、医療的ケア児への支援について検討しています。県立支援学校の施設や支援体制については、市と県が連携して解決していけるよう働きかけていきます。



〈仙台市議会議員懇談会〉

青葉区

1月8日 みやぎ生協柏木店

花木則彰議員、ひぐちのりこ議員、鎌田城行議員、村上かずひこ議員、すげの直子議員、ごうこ正太郎議員

みやぎ生協

小澤義春常務理事、佐藤淑子理事、齋藤裕美理事、辻村優子理事、メンバー21人



子どもの本当の声を聞くことができないので、職員から児童クラブの子どもたちにさいてもらおう等工夫を行っています。小学校給食が親の負担になっていることや仙台市の18歳までのこどもの医療費無料問題など課題解決を考えています。

宮城野区

1月9日 みやぎ生協榴岡店

渡辺ひろし議員、高見のり子議員、佐々木まゆみ議員

みやぎ生協

小澤義春常務理事、佐藤淑子理事、石垣八重美理事、安達泉理事、齋藤裕美理事、メンバー17人



子どもたちと直接触れる機会としては、子ども食堂の支援、養護施設の子どもの訪問を行っています。子どもたちの意見を聞くということについて具体的にどの様にしたら良いか検討中というお話でした。

太白区

1月27日 カメイアリーナ仙台

佐々木心議員、いのまた由美議員、沼沢しんや議員、高村直也議員、佐藤和子議員、千葉修平議員

みやぎ生協

河野雪子副理事長、恵津順美理事、メンバー28人



子どもと関わる機会を持つことが大切でその中で子どもたちの本音を聴くことができ、その中で子どもの生活事情を知ることまでできています。地域との連携や行政の手が届かない部分に関してはNPOや地域にも頼って解決させていきたいと思っています。

若林区

1月27日 みやぎ生協南小泉店

佐藤正昭議員、竹中栄雄議員、菊地崇良議員、鈴木すみえ議員、仁平寛子議員、吉田ごう議員、猪股隆広議員

みやぎ生協

小澤義春常務理事、安達泉理事、メンバー19人



若者会議の予算化もあり、集まった子どもが自主的に活動することをサポートしていきます。子どもの声を形にすることや親世代を支えることも大切だと考えています。子ども食堂の援助の継続や中高生の居場所づくり、身近に遊ぶことのできる場所作りなど、今後、行うべき対応の交流ができました。

泉区

1月28日 みやぎ生協黒松店

ごとう咲子議員、安孫子雅浩議員、ふるくぼ和子議員、石川健治議員

みやぎ生協

國久暁常勤理事、信山澄重理事、齋藤裕美理事、辻村優子理事、メンバー17人



子どもからシニアまで違う世代も集えるような場所を作れるよう検討しています。広報議会では、子ども議会を開催しています。今後は、市政にも意識を向けてほしいと思っています。西公園に無料の屋内遊び場を作ることになりました。子どもの声も聴きながら進めていきます。



みやぎ生協のめざすもの

わたしたちは、協同の力で、人間らしくらしを創造し、平和で持続可能な社会を実現します。

COOP
みやぎ生協・コープふくしま

2024年度首長・議員懇談会のまとめ

1. 今年は、宮城では31自治体と懇談ができました。仙台市でも地域代表理事が参加し懇談会が開催されました。
2. 宮城では、こども基本法が施行され、こども家庭庁が創設されたことを受けて、自治体では、子どもの意見を聴く場を設けたり、子どもや保護者へのアンケートなどを実施し、それを事業計画にどう反映させるのかについて懇談しました。自治体によって特色のある取り組みがあることがわかりました。また、国や県の制度を利用した取り組みが多くあることがわかりました。
3. 宮城と福島の数自治体で包括連携協定の締結に向けて話し合いが進んでいます。宮城県では、懇談を機に名取市と包括連携協定を締結しました。福島県でも懇談を機に田村市と災害物資協定を締結しました。国見町でも5月に締結しました。
4. 議員懇談会は、女川原子力発電所の再稼働や4病院編成についても話し合われました。
5. 福島では6自治体の開催で、田村市と国見町とは初めて懇談し、コープふくしまの活動や事業などお知らせすることができました。
6. 福島は子育て支援や買物支援など、多岐にわたって行政と一緒に取り組めることを中心に話し合い、できることから進めています。

宮城県での懇談テーマ

「誰もが安心してらせる地域づくり」をテーマの中心において、一緒にくらしやすいまちづくりをみんなで考えました。みやぎ生協の活動を伝え、地域で共に取り組めること、くらしの向上のために連携できることを話し合いました。

1. 自治体の計画や課題をお聞きし、その上で生協としてお役立ちできることを話し合いました。また、包括連携協定など締結している内容を確認し、未締結の自治体とは締結に向けて話し合いました。
2. 2023年4月にこども基本法が施行され、こども家庭庁が創設されました。それにもとづき自治体ではこども施策に子どもや子育て当事者の意見を広く聴き、反映させることとなりました。自治体では子どもの声を聴く場としてどのような取り組みが行われているかをお聞きしました。
3. 「誰もが安心してらせる地域づくり」のために、自分の住むまちの良いところや地域で多くの人が困っている現状や、解決して欲しい要望を伝え、自治体と一緒に力を合わせて取り組むことなどを話し合いました。

※福島県では「誰もが安心してらせる地域づくり」のために、各自治体と課題や取り組みについて一緒に力を合わせてできることについて話し合いました。